

## 1 設置目的

本学は、看護に関する高度な知識及び技術を教授研究し、人間性豊かで、かつ新しい看護ニーズに対応した指導的役割の果たせる人材を育成するとともに、県内の看護関係者に対して研修及び情報提供機能を果たすことにより、本県の保健医療水準の向上と福祉の増進に寄与することを目的とする。

## 2 沿革

平成2年 6月 「大学等高等教育の推進に関する懇談会」看護系短期大学設置検討意見  
平成2年12月 「看護職員確保対策協議会」養给力強化の為、県立短大設置要望  
「県立看護系短期大学設立検討委員会」設置  
平成3年 3月 県立看護系短期大学設立検討委員会「県立看護系短期大学（仮称）設置基本構想」を作成  
平成3年 4月 県環境保健部総務課県立看護短期大学設立準備室を設置  
平成3年 5月 県立看護短期大学「上越市設置、平成6年4月開学」知事決定  
平成3年 7月 「県立看護短期大学設立準備委員会」発足  
平成3年11月 「県立看護短期大学基本構想・基本計画」作成  
平成4年 4月 県立看護短期大学設立準備室組織強化・用地の買収開始  
平成4年 5月 基本・実施設計完了  
平成4年10月 校舎建設工事着工  
平成5年 4月 県立看護短期大学設立準備室組織強化  
短期大学設置認可申請書を文部大臣に提出  
平成5年 9月 看護婦養成学校指定申請書を文部大臣に提出  
平成5年12月 文部大臣より、短期大学設置認可  
平成6年 1月 文部大臣より、看護婦養成学校指定  
校舎建設工事完了  
平成6年 4月 新潟県立看護短期大学開学  
第1回入学式挙行

### 3 施設の概要

- ・敷地面積 40,072㎡
- ・建物面積 鉄筋コンクリート造3階建
 

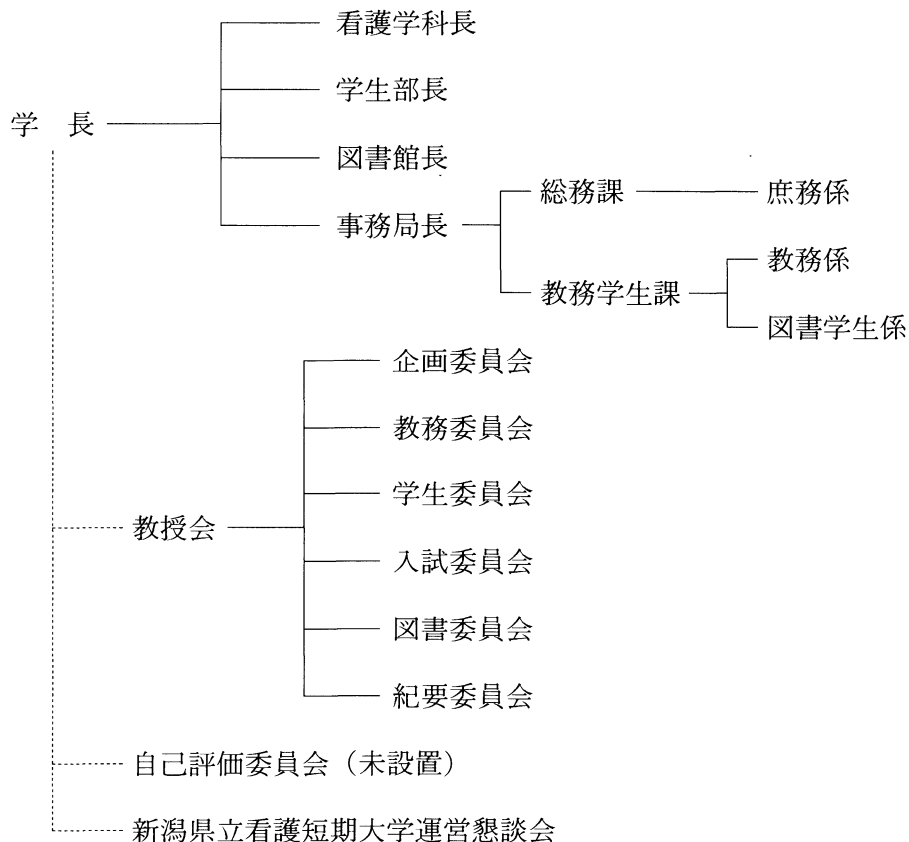
校舎棟	8,	781㎡
体育館棟	1,	323㎡
計	10,	104㎡

(主な施設)

管理研究棟	学長室、事務局、研究室29、看護学実験室、会議室3、学生食堂
図書館棟	図書館(6万冊所蔵可能)、LL教室(56人)、情報科学教室(パソコン52台)
教育棟	講義室8、合同講義室2、実習室6、実験室2、演習室5
体育館棟	体育館(講堂兼用)、サークル室6
グラウンド	200mトラック、ソフトボール場、テニスコート2
駐車場	第1、第2駐車場(170台駐車可能)

### 4 大学組織

#### (1) 大学運営機構



(2) 教職員の状況

① 教員、職員数

ア 専任教員

(平成7年3月現在)

担 当	学 長	教 授	助 教 授	講 師	助 手	計
基 礎 科 目		1人	1人	1人		3人
専 門 基 礎 科 目	1人	1人	1人			3人
専 門 科 目		4人	2人	4人	6人	16人
計	1人	6人	4人	5人	6人	22人

イ 非常勤講師

(平成7年3月現在)

担 当	所 属
基 礎 科 目 5人	上越教育大学 5人
専 門 基 礎 科 目 11人	上越教育大学 1人 新潟大学医療技術短期大学部 1人 県立中央病院 6人 開業医 2人 その他病院等 1人
計 16人	

ウ 事務局

(平成7年3月現在)

	局 長	課 長	係 長	主 任	主 事	嘱託員等	計
事 務 局	1人						1人
総 務 課		1人	1人	1人	2人	1人	6人
教務学生課		(1)	2人	1人	2人 司書1人	1人	7人
計	1人	1人	3人	2人	5人	2人	14人

※ ( ) は兼務、総務課係長は副参事。

② 専任教員名簿

(平成7年3月現在)

職名	氏名	主要担当科目
学長	斎藤秀晃	医学概論 II 看護学特論
看護学科長	桑野タイ子	看護学概論 小児看護学概論
教授	加藤光寶	臨床看護学総論 成人看護学概論
〃	小野澤康子	臨床看護学総論 成人保健
〃	田中キミ子	看護管理理学 II 成人臨床看護学
〃	杉田収	化学統計学
〃	中野正春	解剖生理学 III 病態学
助教授	佐々木美佐子	地域看護学実習 基礎看護学
〃	長野勝	精神臨床看護学 精神臨床看護学
〃	関谷伸一	生理解剖生理学
〃	山本誠一	臨床心理学
講師	小林ミチ子	成人臨床看護学 I 成人看護学実習
〃	金子史代	成人臨床看護学 III 基礎看護技術演習
〃	中村博生	英語 I・英語 II 英語 III
〃	松永保子	基礎看護技術演習 基礎看護技術演習
〃	水口陽子	基礎看護技術演習 基礎看護技術演習
助手	島村澄江	看護学実習
〃	渡邊繁子	看護学実習
〃	渡辺典子	看護学実習
〃	井口ひとみ	看護学実習
〃	宮越幸代	看護学実習
〃	桑原洋子	看護学実習

③ 事務職員名簿

(平成7年3月現在)

配 置	職 名	氏 名
事 務 局	事 務 局 長	一ノ関 昇 允
総 務 課	総務課長兼教務学生課長	金 子 俊 彦
	副参事(庶務係長)	田 中 紀 夫
	主 任	渡 辺 克 一
	主 事	齋 藤 敏 和
	主 事	中 村 美 和 子
	嘱 託 員	石 橋 広 子
教 務 学 生 課	教 務 係 長	星 野 正 彦
	主 任	鈴 木 登 美 子
	主 事	品 田 健 吉
	函 書 学 生 係 長	寺 崎 茂
	主 事	樋 口 芳 子
	司 書	吉 原 貴 子
	日 々 雇 用 職 員	中 島 佳 代 子

④ 教職員の転出入一覧表

(転入者)

配置・職名	氏 名	前 所 属 所	年 月 日
教 授	村 山 ヒサエ	新潟大学医療技術短期大学部	7. 4. 2
助 教 授	水 戸 美津子	千葉県立衛生短期大学	7. 4. 1
講 師	秋 山 啓 子	県立中央病院附属看護専門学校	〃
〃	山 田 洋 子	県立中央病院附属看護専門学校	〃
〃	村 山 陵 子	東京大学医学部附属病院	〃
助 手	山 田 正 実	県 立 中 央 病 院	〃
〃	飯 吉 令 枝	柏 崎 保 健 所	〃
〃	大久保 明 子	県 立 中 央 病 院	〃
〃	石 澤 信 人	県 立 療 養 所 悠 久 荘	〃
〃	武 田 美津代	済 生 会 栗 橋 病 院	〃
〃	山 際 和 子	県立吉田病院附属看護専門学校	〃
事務局総務課長 兼教務学生課長	齋 藤 照 義	新 津 農 地 事 務 所	〃
嘱 託 員	関 根 加代子		〃

(転出者)

配置・職名	氏名	転出先	年月日
事務局総務課長 兼教務学生課長	金子俊彦	安塚地域福祉センター	7.4.1

## 5 設置学科

区分	入学定員	修業年限	総定員	備考
看護学科	100人	3年	300人	
専攻科	地域看護学	1年	40人	平成9年4月
	助産学	1年	20人	設置予定

## 6 教育理念及び目標

### (1) 教育理念

生命の尊厳という価値観に立ち、科学性と豊かな人間性、柔軟な感性を持った資質の高い看護専門家を育成する。

### (2) 教育目標

- ① 広い視野を持ち、柔軟で豊かな感性を持って患者に対応できる能力を養成する。
- ② 進歩・発展する医療技術に対応できる基礎的な看護実践力を養成する。
- ③ 看護学の発展や看護技術の改善に貢献できるような基礎的な研究能力を養成する。
- ④ 保健・医療・福祉チームの一員として、他の職種と連携しながら看護の役割を果たす能力を養成する。

## 7 教育方針

### (1) 基礎教育科目

- ① 看護の対象は人間であり、生命に深くかかわることから、倫理的に自らを深く考え理解する人間教育を充実し、豊かな人間性を育む基盤をつくる。
- ② 保健医療分野における情報処理のコンピュータ化に対応できるよう情報処理の基礎知識を教授する。
- ③ 国際化時代に対応するためにも、英語などの外国語学習を充実する。

### (2) 専門教育科目

- ① 高度化する医療技術の進歩に対応していくため、専門基礎科目を充実する。
- ② 専門科目としての看護学は、理論と実践が不可分であり、科学的な思考や判断能力を養うとともに、自主的かつ創造的な学習能力を啓発し、理論と実践を統合する臨床実習教育を充実する。

8 授業科目

授業科目		単位数	
		必修	選択
基礎科目	人文科学	哲学	2
		文学	2
		心理学	2
		社会学	2
	社会科学	社会学	2
		教育学	2
		文化人類学	2
		国際関係学論	2
	自然科学	物理学	2
		化学	2
		生物統計学	2
	外国語	英語 I	2
英語 II		1	
英語 III		1	
中国語 I		1	
中国語 II		1	
保健体育 (講義)	1		
保健体育 (実技)	1		
専門基礎科目	医学概論	1	
	解剖生理学	4	
	生化学	1	
	栄養学	1	
	臨床栄養学	1	
	微生物学	1	
	生態学 I	2	
	生態学 II	2	
	生態学 III	1	
	生態学 IV	1	
	精神病学態学	1	
	生殖生物学態学	1	
	小児病態学	1	
	老年病態学	1	
	公衆衛生学	1	
社会福祉学	1		
社会福祉学		2	





《参考》

実習（予定）施設一覧

施設名	授業科目
新潟県立中央病院	基礎看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅰ・Ⅱ 小児看護学実習Ⅱ 母性看護学実習Ⅰ・Ⅱ
国立療養所犀潟病院	精神看護学実習 小児看護学実習Ⅱ
上越総合病院	母性看護学実習Ⅰ・Ⅱ
新潟労災病院	成人看護学実習Ⅱ
特別養護老人ホームいなほ園	老人看護学実習
特別養護老人ホームさくら聖母の園	老人看護学実習
上越保健所	基礎看護学実習Ⅱ
上越市	基礎看護学実習Ⅱ
新井市	基礎看護学実習Ⅱ
柿崎町	基礎看護学実習Ⅱ
大潟町	基礎看護学実習Ⅱ
上越市立保育園（15カ所）	小児看護学実習Ⅰ

## 9 学生に関する状況

### (1) 入学試験の状況

#### ① 一般入試（募集人員 70人）

年 度		応募者数	受験者数	受験倍率	合格者数	合格倍率	入学者数
平成 6 年 度	総 数	573	441	6.3	106	4.2	70
	県 内	363	297		73		49
	県 外	210	144		33		21 (1)
平成 7 年 度	総 数	474	402	5.7	103	3.9	70
	県 内	301	265		67		51 (2)
	県 外	173	137		36		19

【注】 上記表の（ ）内は男子で内数。

#### ② 推薦入試（募集人員 30人 県内高校の3年生のみ）

年 度	応募者数	受験者数	合格者数	合格倍率	入学者数	摘 要
6 年 度	116	116	30	3.8	30 (0)	
7 年 度	115	114	30	3.8	30 (1)	

【注】 上記表の（ ）内は男子で内数。

### (2) 学生の現況（出身地別状況）

県 名	入学数	県 名	入学数	県 名	入学数	県 名	入学数
新潟県	79	秋田県	1	埼玉県	1	富山県	4
北海道	1	山形県	6	千葉県	1(1)		
岩手県	1	群馬県	4	長野県	2	合 計	100(1)

(3) 奨学金等貸与の状況

日 本 育 英 会			新潟県奨学金	新潟県看護職員修学資金	他 県
一 種		二 種	県教育委員会	県環境保健部医務薬事課	山形県
自 宅 生	自宅外生	自宅外生	月額32,000円	月額16,000円	
4 人	14 人	9 人	3 人	9 人	2 人

(4) 学生自治会 《平成6年5月30日 設立》

① 大学祭『看護短大祭』を開催 平成6年11月19日（土） 来校者500人

- ・テーマ展示 「看護の歴史」・「エイズ」・「体と病気」
- ・一般公開講座
- ・「健康チェック」・「車椅子オリエンテーリング」ほか多数

② サークル活動

サークル名	参加者数	サークル名	参加者数
バドミントン	32人	バスケットボール	14人
ソフトテニス	13人	水泳（ダンス）	6人
テニス	29人	スキー・温泉	43人
バレーボール	26人	軽音楽鑑賞	5人

(5) 健康管理（保健室の利用状況）

年 月	怪我	急病	慢性疾患	年 月	怪我	急病	慢性疾患
H6. 6	14	4	0	H6. 11	2	15	0
7	3	3	0	12	4	2	0
8	0	0	0	H7. 1	2	5	0
9	1	3	0	2	0	6	0
10	0	6	0	3	0	0	0

# 10 学 年 曆

学 期	事 項	日 程
前    期	入 学 式	4月13日(水)
	ガ イ ダ ン ス	4月14日(木)
	前 期 授 業 開 始	4月18日(月) ~
	開 学 記 念 日	5月 8日(日)
	健 康 診 断	5月31日(火) ~ 6月 1日(水)
	夏 季 休 業	7月11日(月) ~ 8月31日(水)
	前 期 試 験	9月26日(月) ~ 9月30日(金)
後    期	後 期 授 業 開 始	10月 3日(月) ~
	大 学 祭	11月19日(土)
	冬 季 休 業	12月25日(日) ~ 1月 7日(土)
	後 期 試 験	2月13日(月) ~ 2月17日(金)
	補 講	2月20日(月) ~ 3月20日(月)
	解 剖 見 学	3月 9日(木) ~ 3月10日(金)
	春 季 休 業	3月21日(火) ~ 4月 7日(金)

## 11 教員の研究・研修活動

### (1) 著作物

#### ① 論文

題 名	氏 名	雑誌名・巻	掲 載 頁	年
I C Uにおける主な治療と看護	小野澤康子ほか	臨床看護20	1247-1254	1994
尿路カテーテル留置中の 感染予防	小野澤康子ほか	臨床看護21	210- 213	1994
IVH施行中の患者の援助につい ての検討-実施過程における判 断情報と対応-	小野澤康子ほか	特別研究報告 書(平成5, 6年度)	155- 164	1995
イヌリンの酵素的測定法	杉田収ほか	臨床化学23	164- 169	1994
非線形最小二乗法を用いた 正常値の計算法	松戸隆之・杉田収ほ か	臨床病理42	89- 93	1994
A simple method to measure red cell deformability by centrifugation	M.Okada,O.Sugita et al.	Presse Med.	1613-1615	1994
段階実習方式による 「地域把握」の教育方法	佐々木美佐子ほか	日本公衆衛生 看護教育研究 誌 5	24- 30	1995
保健婦学校における母子保健 指導教育の実態	宮地文子・佐々木美 佐子ほか	同上	61- 68	1995
保健婦学校の「母子保健指導教 育」に対する保健所および市町 村保健婦の見解	村山正子・佐々木美 佐子ほか	同上	68- 75	1995
保健婦学校卒業生の「母子保健 指導教育」に関する調査	佐々木美佐子ほか	同上	76- 83	1995
Nerve supply to the accesory soleus muscle	S.Sekiya et al.	Acta Anato- mca	121- 127	1994

A study of the deep ascending cervical artery(new difinition) and its relation to some other arteries in the human cervical region	S.Sekiya et al.	Annals of Anatomy	233-242	1994
ティームティーチングの授業改善と評価	中村博生	教育実践研究 第4集	133-138	1994
学生の対象理解を深める面接指導	宮越幸代	看護展望19	74-83	1994

② 著書

著 書 名	監・編・著者名	出 版 社 分担執筆の頁	地 名	年
シリーズ・ベッドサイドマニュアル 成人外科看護 I	桑野タイ子 監 加藤光寶 編	中央法規出版	東京	1994
シリーズ・ベッドサイドマニュアル 成人外科看護 II 腎移植後のクリーンルームでの生活 の概要	桑野タイ子 監 加藤光寶 編 島村澄江	中央法規出版 15	東京	1994
看護過程	加藤光寶 編	廣川書店	東京	1994
J J Nスペシャル 39 ドレッシングと包帯法	鈴木篤ほか 編 加藤光寶	医学書院	東京	1994
主任と中堅 4 コンテンポラリーナーシング	加藤光寶	日総研	仙台	1994
日本臨床増刊号 広範囲 血液・尿化学検査 免疫学的検査—その数値をどう読むか—第4版 上巻 酵素結合性免疫グロブリン 尿中N-アセチル-β-D -グルコサミニダーゼ	杉田収 杉田収	日本臨床社 432-434 447-449	大阪	1995

事例 発達臨床心理学事典	高野清純 監	福村出版	東京	1994
I部 心理的基礎概念編				
アンビバレンス	山本誠一		5	
イド(エス)			6	
外傷体験			13	
カタルシス			18	
去勢不安			25	
固着			30	
ナルシズム			69	
II部 発達段階別編				
アパシー			267- 268	
境界例			279- 280	
社会性の障害			288	
学校カウンセリングの考え方・進め方	松原達哉 編	教育開発研究	東京	1994
第2章 Second Step-診断と実践編		所		
《子どもの心理を理解する方法》				
質問紙法作成の心得と留意点	山本誠一		138- 139	
メンタルヘルスガイド	松原達哉 編	教育出版	東京	1994
IX章 資格の取り方				
9. 弁護士・検事・判事	山本誠一			
10. 税理士・公認会計士			152- 158	
11. 社会福祉士・介護福祉士				
12. 理学療法士				
付録-学生相談室へのお誘い			221- 226	
主な学生相談機関				
筑波大学ガイダンス・マニュアル (自殺予防のために)	山本誠一ほか編	筑波大学(こ ころの健康委 員会)	つくば	1994

③ その他

題名	氏名	掲載雑誌・その他	頁	年
ALPアイソザイムの測定値	杉田収	日本医事新報3638	130	1994
看護事例に対するアドバイス	長野勝	こころの看護 11	81-91	1994
		12	70-79	1994
		13	55-65	1994

看護事例に対するアドバイス	長野勝	こころの看護 14	69-78	1995
松原達哉先生から学んだこと - 学生が好きだから (学生相談室)	山本誠一	松原達哉先生退官記念誌	46-48	1994
青年の不安を取り扱うことの むづかしさ	山本誠一	青年心理学会ニュース レター 4	2	1994
遠くから「見守ること」の むづかしさ	山本誠一	紫峰会報 43	7	1994
学生相談と“私”(専任カウンセラーの思い出)	山本誠一	筑波大学保健管理センター 20周年誌	32	1994

(2) 学会発表

演 題 名	氏 名	学 協 会 名	年 月 日	発 表 地
IVH施行中の終末期のがん患者の援助についての検討 - IVHの施行に伴う問題の分析と対応 -	三輪木君子・小野澤康子ほか	第8回日本サイコロジ学会	1994. 9.30	旭川市
The quality of life of patients with diabetes mellitus	松浦照子・小野澤康子ほか	第15回国際糖尿病学会	1994.11. 8	神戸市
血管内皮細胞における細胞接着分子の発現機序	岡田正彦・杉田収ほか	第41回日本臨床病理学会	1994.10.26	盛岡市
Endothelial cell responses to controled pulsative flow at the bifurcation of a model vessel	M.Okada, O.Sugita et al.	16th IEEE Engineering in Medicine and Biology Society	1994.11. 3	USA
デキストラン硫酸セルロースカラムによるLp(a)の分離	杉田収ほか	第34回日本臨床化学学会	1994.11. 4	東京都



保健婦教育における「母子保健指導」教育に関する調査	佐々木美佐子ほか	第5回日本公衆衛生看護教育研究会	1994. 8. 6	東京都
保健婦教育における「母子保健指導」の教育実態	宮地文子・佐々木美佐子ほか	同上	同上	同上
母子保健教育に関する調査	大野絢子・佐々木美佐子ほか	第53回公衆衛生学会	1994.10.14	鳥取市
新潟県保健所保健婦の現任教育の現状と課題	池田愛子・佐々木美佐子ほか	第16回全国地域保健婦学術研究会	1994.11.18	名古屋市
副腎の静脈系—腹腔鏡下副腎摘出術と関連して—	関谷伸一ほか	第99回日本解剖学会	1994. 4. 1	山形市
坐骨神経の神経束構築	関谷伸一	第16回肉眼解剖懇話会	1995. 3.31	東京都
悩めない“不安”から悩める“不安”を経て、より自分らしくなっていく青年（シンポジウム）	山本誠一	青年心理学会第2回大会	1994.11.20	神戸市
皮膚血流の研究—冷刺激による血流変動のパターン—	松永保子ほか	第20回看護研究学会	1994. 7.30	東京都
より効果的な産後の避妊指導を考える	渡辺典子	第35回日本母性学会	1994.10.14	東京都

(3) 講演

演 題 名	氏 名	研 修 会 名	講 演 地	年 月 日
看護教育に求めるもの 高齢社会を迎えて 老いゆく体と心	斎藤秀晁	新潟県看護教員の会	新潟市	1994. 8.19
	斎藤秀晁	糸魚川地域研修会	糸魚川市	1994.10. 5
	斎藤秀晁	新潟県特定郵便局長会	松之山町	1995. 3.19

パネルディスカッション 新潟県立病院に求めるもの	(座長) 斎藤秀晁	県立病院管理研究会	新潟市	1994.10.24
	パネラーは県立病院側3人、地域医師会側3人			
臨床実習 育つこと育てられること	加藤光寶	香川県看護協会	高松市	1994. 7. 9 7.10
看護管理：集団における リーダーシップ 生き生きしたスタッフを育てる職場づくり	加藤光寶	自治体病院婦長主任 研修会	新潟市	1994. 9.13
面接の技術－理論と実際－	佐々木美佐子	平成6年度訪問看護 婦養成講習会	上越市 長岡市 新潟市	1994. 8. 4 1994. 8.11 1994. 9. 3
地域保健と学校保健の連携	佐々木美佐子	新潟大学教育学部養 護教諭特別科	新潟市	1994.12. 2
在宅ケアにおける病院と 地域の連携	佐々木美佐子	新潟県看護協会上越 地区協会研修会	上越市	1994.12. 1
精神科看護における リーダーの育成	長野勝	日本精神科看護技術 協会新潟県支部 精神科看護リーダー シップ研修会	新潟市	1994.11.17 11.18
教育相談の進め方	山本誠一	茨城県教育研修セン ター 平成6年度初 任者研修講座	猿島町・ 茨城	1994. 8.18

氏 名	研 修 会 名	講演地	年 月 日
桑野タイ子・小野澤康子・佐々木美佐子・ 長野勝・小林ミチ子・金子史代	新潟県環境保健部 実習指導者養成講習会	新潟市	1994. 8.22～ 1994.10. 7
桑野タイ子・加藤光寶・小野澤康子 田中キミ子・佐々木美佐子・長野勝	新潟県看護協会 看護管理者（ファース トレベル）研修会	上越市	1995. 1.28～ 1995. 3.24

(4) 共同研究等

① 科学研究費による研究

研究種目	研究課題名	本学研究者	研究代表者所属	期間
厚生省心身障害研究	市町村における母子保健事業の効率的実施に関する研究	佐々木美佐子	高野陽 国立公衆衛生院	平成6年度～ 平成8年度

② 共同研究

研究課題名	研究の目的	本学研究者	研究代表者所属
動脈硬化症診断のための血管モデルの構築と計測技術の研究開発	脳血管障害の発生メカニズムの解明	杉田収	岡田正彦 新潟大・医

## 12 大学の公開

(1) 公開講座

本学は、広く県民に健康と看護に関する知識の普及と地域の看護関係者の資質の向上に寄与することを目的とし、一般県民を対象とした一般公開講座と看護に関する職業に従事する者を対象とした専門公開講座の2講座を実施した。

<専門公開講座>

- ・概要 講座は、はじめに全体で講演を聴き、その後4グループに別れ、それぞれ教員が加わり「臨床現場における研究課題について」のグループ討議や、コンピュータを使用した「コンピュータによるデータの集計と解析」のグループワークを実施した。

最終日には、グループでの研究結果を全体討議で報告した。

- ・期間 平成6年8月24日(水)～8月26日(金)3日間
- ・テーマ 「看護研究の基礎」  
基礎的な看護研究のプロセスを体験し、看護現場における問題解決に役立てる。
- ・講演 教授 桑野タイ子 「臨床看護婦と看護研究」  
教授 加藤光寶 「看護研究の方法」
- ・受講者 30人

<一般公開講座>

- ・概要 大学祭に合わせて実施。  
スライドやOHCを使用した講演に受講者からの質問が相次ぎ好評であった。
- ・期間 平成6年11月19日(土)
- ・テーマ 「健康な生活」

- ・講演 教授 杉田 収 「飲料水と健康」  
教授 中野 正春 「スポーツとけが」
- ・受講者 70人

(2) 施設の開放

県立短期大学という公的な施設として「開かれた大学」を目指し、特に本学と関わりの深い看護関係団体に主として施設の開放を行った。

- ・新潟県看護協会 看護管理者研修会（ファーストレベル51人）第4講義室、第2合同講義室、コンピュータ教室ほか  
平成6年10月7日（金）～平成7年3月24日（金）延べ11日間
- ・新潟県看護協会 上越地区協会 看護研修会（約100人）第2合同講義室  
平成6年12月1日（木）
- ・高田ロータリークラブ 移動例会（40人） 学生食堂  
平成6年7月22日（金）

《参考》 主な施設見学者

4月26日	県政モニター
5月20日	堀川副知事
6月22. 24. 28日 30日. 9/29	上越市施設めぐり ふれあい県政バス
7月27. 28. 8/3	上越市夏休み親子施設めぐり
9月2日 14日 20日	関東甲信越地区10都県の看護担当者 県議会厚生環境委員会 県庁企画主幹会議
11月4日	上越市政モニター
	他80団体 合計1,104人
	県内高校 135人 県外高校 6人

13 図書館

(1) 概要

① 図書等資料の整備方針

ア 豊かな人間性を持つ看護職員の育成のため、一般教養・専門の分野にわたり質的量的充実を図っている。

イ 本学の特色である高齢化社会に対応できる看護専門職の育成のために必要な老人看護・地域看護・臨床栄養学・リハビリテーション・社会福祉の各分野の図書の充実をした。

ウ 専門書においては、教育・研究活動の支援並びに外国書講読力の向上の観点から、和書だけではなく、洋書についても質的・量的充実を進めている。

エ 最新の医学・看護学の情報を提供するため、多数の内外の学術雑誌及び広い視野に立つ人間観の育成のため、一般雑誌を整備している。

オ 効果的な看護教育を行うため、可能な限り映像・音声教材の整備に努めた。

カ ビデオ・LD・CD・カセットにより、視聴のためのシステムを整備した。

キ 高度な調査・研究の援助と情報を地域に開放・発信するため、看護に関する図書等資料の重点整備の促進。

② 情報検索の効率化

図書等資料の整備の不足を補うため次の機器・制度を整備している。

- ・ 学術情報センターとのオンライン文献検索 N A C S I S - I R
- ・ 県立図書館とのオンライン書誌情報の検索
- ・ 県図書館協議会加盟各図書館との相互貸借協定（図書）の締結
- ・ 各種CD-ROMによる検索

③ コンピューターの導入

多様化する図書館利用への要求に対応するため、次に掲げる図書館業務へのコンピューターの導入を図った。

- ・ 貸出管理 ・ 利用者登録 ・ 蔵書管理 ・ 図書検索
- ・ 原簿・目録の印刷 ・ 統計処理 ・ 会計処理

④ 今後の課題

本学の基本方針である「開かれた大学」を実践するため、高度に集積された看護に関する図書・情報を広く学外者、特に看護に従事する者に利用を進める必要がある。現在、図書資料等の閲覧と文献複写のみ認めているが、図書資料等の貸出を希望する声が高まりつつあり、今後の課題として、学外者への貸出及び図書館の開館時間の延長について検討する必要がある。

(2) 蔵書構成

① 蔵書冊数

- ・ 単行本 和書・・・16,340冊 洋書・・・1,800冊 合計 18,140冊
- ・ 製本雑誌 和書・・・413冊 洋書・・・9冊 合計 422冊

② 分類別蔵書数 (平成7年3月31日現在)

0	総記	390冊	6	産業	70冊
1	哲学	740冊	7	芸術	650冊
2	歴史	410冊	8	言語	1,010冊
3	社会科学	2,650冊	9	文学	1,110冊
4	自然科学	10,820冊			
5	工学	290冊		合計	18,140冊

③ 所蔵雑誌数

・和雑誌 購入・・・ 77種 寄贈・・・ 5種 合計 82種  
 ・洋雑誌 購入・・・ 15種 寄贈・・・ 0種 合計 15種

④ 視聴覚資料所蔵数

・ビデオテープ・・・ 331巻  
 ・LD・CD・・・ 125枚  
 ・CD-ROM・・・ 8枚  
 ・電子資料・・・ 16枚  
 合計 480タイトル

(3) 利用状況

① 開館・利用者数

a 年間開館日数・・・ 216日  
 b 入館者数・・・ 18,904人(延べ人数)  
 c 学外利用者数・・・ 106人

② 館外個人貸出

a 貸出者数

学 生	教 職 員	そ の 他	合 計
951人	336人	52人	1,339人

b 貸出図書数

学 生	教 職 員	そ の 他	合 計
1,481冊	1,218冊	117冊	2,816冊

c ビデオテープ・・・ 204件

d C D・・・ 54件

(4) 図書館サービス

- ① レファレンス 件数については不明  
 ② 文献検索 CD-ROM検索・・・ 17件  
 ③ 複写業務 複写申し込み件数・・・ 742件  
 ④ 相互貸借業務 他館への依頼・・・ 10件

## 14 管理運営

### (1) 予算及び決算

#### ① 歳入の状況

(単位：千円)

区 分	予 算	決 算	備 考
使用料及び手数料	52,020	60,087	
使用料(授業料)	30,060	29,759	
手数料(入学考査料)	4,800	9,424	
" (入学料)	17,160	20,904	
諸 収 入	400	749	
コピーカード代金収入	400	171	
庁舎管理費等収入	0	541	
公衆電話手数料収入	0	25	
その他収入	0	12	
合 計	52,420	60,836	

#### ② 歳出の状況

(単位：千円)

事 業 名	予 算 額	決 算 額
看護短期大学維持管理費	52,668	41,209
看護短期大学 運 営 費	27,383	28,499
各種会議開催費	70	70
各種団体負担金	360	360
看護短期大学 事 務 費	3,028	3,464
入学試験費	3,028	3,464
図書館費	11,249	11,249
設備充実費	26,858	28,233
教 育 研 究 費	14,571	14,571
非 常 勤 講 師 報 酬 等	4,895	5,105
公 開 講 座 事 業 費	119	119
実 習 指 導 者 養 成 委 託 費	4,985	4,528
開 学 記 念 式 典 開 催 費	1,165	1,165
教 職 員 給 与 費	290,710	291,518
合 計	438,061	430,090

(2) 主要備品

物 品 名	数量	物 品 名	数量
移動棚	1	医用サーモグラフィティー装置	1
自動車	1	眼球運動測定器	1
蘇生訓練用生体シュミレーター	1	分娩台	1
バスケットボールゴール	1	未熟児用保育器	1
液体クロマトグラフィ装置	1	ビデオプロジェクター	2
多用途脳波計	1		

※購入価格が200万円以上の備品を掲載している。



## 15 1年の歩み

### (1) 主要行事の概要

#### ① 入学式

開学初年度の記念すべき第1期生100人を迎える入学式が、平山知事を始め宮越上越市長、松元新潟県医師会長、塩谷新潟県看護協会理事長、実習施設代表の村川県立中央病院長の祝辞や多くの来賓の出席をいただき4月13日（水）午前11時から本学の体育館で、挙行された。

前日の強風も収まり、看護短大の前途を祝福するかのような好天に恵まれ、式場までのキャンパスストリートに飾られた色とりどりの花々が文字どおり華を添えて、終始和やかな中にも厳粛に行われた。

また、県内初の看護短大の入学式ということで、多くの報道関係者も取材に訪れ、地元の新聞やテレビで報道された。



#### ② 開学記念式典

5月8日の開学記念日に、平山知事、高鳥衆議院議員、白川衆議院議員、県議会議長代理の布施県議会議員、佐々木全国公立短期大学協会長、宮越上越市長ほか大勢の来賓を迎えて本学の体育館で行われ、校舎の建設に携わった施工者から、開学記念品の寄贈があった。



また、会場を変えて祝賀会が盛大かつ和やかに行われ、開学を祝った。

（参考）新潟県が上越市に県立看護短期大学を設置することを正式に決定・公表した日が平成3年5月8日であり、この日を本学の開学記念日としたものである。

### ③ 運営懇談会

この懇談会は、本学の運営全般について設置者及び県内の医療看護、教育関係者から広く意見、助言、要望等を拝聴し、大学運営に反映させることにより、地域に密着した公立短期大学としての適性かつ円滑な運営に資するため設置されており、構成員は県環境保健部長、県医師会長、県看護協会理事長、上越教育大学長、県高等学校長協会長、県立中央病院長を基本メンバーとし、課題等によっては適任者を追加する。

第1回目の会合が平成7年3月15日に行われ、本学側からの概要説明後、①県内高校の大学進学の実況と看護短大への要望等について、②大学図書館の運営のあり方について、③学生指導のあり方について、のテーマで意見交換を行った。

### (2) 教授会の活動

- 第1回 (6. 4. 1) ・各委員会構成員決定  
・学則等の審議を各委員会に付託
- 第2回 (6. 4. 1) ・学生部長、図書館長の選任
- 第3回 (6. 4. 7) ・各委員会正副委員長の選出  
・学則、同実施細則の審議  
・図書館利用規程の審議  
・構内駐車規程の審議  
・履修規程の審議  
・クラス担任の審議  
・ガイダンスの方法  
・教育研究費の配分を企画委員会に付託  
・企画委員会の委員変更承認
- 第4回 (6. 4.25) ・学則の審議  
・教授会規程の審議  
・委員会規程の審議  
・施設等管理規程の審議  
・構内駐車規程の審議  
・教育研究費の配分  
・休講(5/2,6) の決定  
・学生の健康診断の方法協議  
・7年度入試の基本方針協議
- 第5回 (6. 5.23) ・教材費の配分  
・議事録署名人の指定  
・7年度入試募集要項の審議  
・大学説明会の開催審議
- 第6回 (6. 6.27) ・公開講座規程の審議及び6年度の実施要領制定  
・入試関係委員会設置要綱の審議制定  
・学外研修手続きの審議  
・前期試験、問題作成等審議

- 第7回 (6. 9. 5)
  - ・図書館運営について審議
  - ・前期試験の時間割審議
- 第8回 (6.10. 3)
  - ・各委員会の構成員変更
  - ・大学祭実施日について
- 第9回 (6.11. 7)
  - ・教員選考規程の審議
  - ・前期試験結果通知案の審議
  - ・7年度非常勤講師確認
  - ・9年度入試科目の審議
  - ・紀要投稿規程の審議
  - ・校章の制定について
- 第10回 (6.12. 5)
  - ・教員審査委員会の設置
  - ・7年度授業時間帯の審議
  - ・7年度学年歴の審議
- 第11回 (6.12.14)
  - ・推薦入試合格者の決定
- 第12回 (7. 1. 9)
  - ・定年規程の審議
  - ・教材費の配分
  - ・後期試験の実施方法審議
  - ・7年度学内行事の審議
- 第13回 (7. 2. 6)
  - ・学則改正の審議
  - ・後期試験の時間割審議
  - ・7年度入学生ガイダンス
- 第14回 (7. 2.27)
  - ・一般入試合学者の決定
  - ・7年度授業時間割表の審議
- 第15回 (7. 3. 6)
  - ・研究生規程の審議
  - ・科目等履修生規程の審議
  - ・7号教授会の審議事項確認
  - ・7年度各委員会の構成方針
  - ・7年度学年暦の修正
  - ・シンボルマークの制定
  - ・大学運営懇談会の設置
- 第16回 (7. 3.27)
  - ・1年生の進級判定
  - ・研究生、科目等履修生の7年度募集要項審議
  - ・兼業内規の審議
  - ・コンピュータ部会の設置
  - ・厚生補導体制の整備
  - ・7年度研究生の決定

(3) 各委員会の活動

① 企画委員会

- 第1回(6. 4. 7)
  - ・正副委員長の選出

- 学則の審議
  - 学則実施細則の審議
- 第 2 回(6. 4.15)
  - 施設等管理規程の審議
  - 構内駐車規程の審議
  - 教授会規程の審議
  - 研究費の配分
- 第 3 回(6. 4.18)
  - 教授会規程の審議
  - 委員会規程の審議
  - 研究費の配分
- 第 4 回(6. 4.25)
  - 委員会規程の審議
  - 教授会規程の審議
  - 教材費の配分
- 第 5 回(6. 5. 9)
  - 教材費の配分
  - 公開講座実施基本方針
  - 年報の担当委員会決定
- 第 6 回(6. 6.13)
  - 公開講座規程の審議及び 6 年度の実施要領（案）制定
  - 学外研修の手續説明
  - 兼業について審議
  - 戴帽式について
- 第 7 回(6. 6.23)
  - 入試実施委員会設置要綱、一般判定委員会設置要綱
  - 推薦判定委員会設置要綱の審議
- 第 8 回(6. 7.15)
  - 共同研究について
  - 7 年度当初予算要求について
  - 外国人学生の取扱い
- 第 9 回(6. 9.12)
  - 専攻科の設置について
  - 7 年度要求教育用備品の希望結果
- 第10回(6.10.17)
  - 教員選考規程の審議
  - 教員選考規程の申し合わせ事項設定
- 第11回(6.11. 1)
  - 教員選考規程の審議
  - 平成 7 年度当初予算要求の説明
- 第12回(6.11.21)
  - 定年規程の審議
  - 平成 6 年度実習備品の購入
- 第13回(6.12.19)
  - 定年規程の審議
  - 教材費（保留分）の配分
- 第14回(7. 1.17)
  - 研究生規程の審議
  - 科目等履修生規程の審議
  - 学則改正の審議
- 第15回(7. 2.13)
  - 研究生規程の審議
  - 科目等履修生規程の審議
  - 7 号教授会の審議事項審議

- ・兼業内規の審議
- ・各委員会の構成方針審議
- 第16回(7. 3.20)
  - ・研究生募集要項の審議
  - ・科目等履修生募集要項の審議
  - ・兼業内規の審議
  - ・平成7年度各委員会の構成
  - ・コンピュータ委員会（仮称）の設置検討

② 教務委員会

- 第1回(6. 4. 5)
  - ・委員長、副委員長選出
  - ・新潟県立看護短期大学履修規程の検討
- 第2回(6. 4.19)
  - ・履修届と履修届の変更の届出日時の決定
  - ・教務委員会の定例会の決定
  - ・外国語単位の設定について
- 第3回(6. 5.10)
  - ・平成6年度の教務委員会の活動計画の検討
- 第4回(6. 6.14)
  - ・前期・後期試験について
- 第5回(6. 9.13)
  - ・前期・後期試験の実施上の注意事項の検討
  - ・試験成績報告書・学籍簿の検討
  - ・統計学の事前学習の情報科学教室の使用について
- 第6回(6.10.11)
  - ・前期試験の結果報告
  - ・学生への成績結果の伝達について
  - ・2人以上の教員が担当している教科の成績について
  - ・来年度の時間割と非常勤講師のリスト
- 第7回(6.11. 8)
  - ・前期試験の通知方法
  - ・前期試験の追・再試験の受験人数について
  - ・非常勤講師リスト
  - ・来年度の授業時間の検討
  - ・平成7年度学年暦の検討
- 第8回(6.12. 6)
  - ・2人以上の教員が担当している教科の成績評価
  - ・来年度の新入生ガイダンスについて
- 第9回(7. 1.10)
  - ・成績評価について
  - ・後期試験の時間配分について
  - ・体育集中講義について
- 第10回(7. 1.11)
  - ・科目試験実施に伴う申し合わせ事項（案）の検討
- 第11回(7. 2.14)
  - ・平成7年度時間割表について
  - ・進級会議の資料としての成績表の検討
  - ・2人以上の教員が担当している教科の成績について
  - ・後期試験の追・再試験の日程について
- 第12回(7. 2.20)
  - ・学年暦修正について
- 第13回(7. 3.14)
  - ・在校生ガイダンスの内容
  - ・進級認定資料について

- ・ 1 科目の担当教員が 2 人以上の場合の評価

### ③ 学生委員会

- 第 1 回(6. 4. 5)
  - ・ 委員長、副委員長を選出
  - ・ クラス担任及び新入生ガイダンスの概要を検討
- 第 2 回(6. 5.16)
  - ・ 日本育英会奨学生の選考・授業料の減免審査
  - ・ 学生の保健計画の実施について
- 第 3 回(6.12.13)
  - ・ 平成 7 年度入学生ガイダンス実施概要検討
  - ・ 平成 7 年度「大学祭」の実施について検討
- 第 4 回(7. 1.23)
  - ・ 平成 7 年度入学生ガイダンス実施細目検討
- 第 5 回(7. 3.22)
  - ・ 学生部の厚生補導体制の整備について協議

### ④ 入試委員会

- 第 1 回(6. 4. 5)
  - ・ 年間スケジュール
- 第 2 回(6. 4.21)
  - ・ 入学試験の検討
- 第 3 回(6. 5. 9)
  - ・ 入試日時、会場の検討
- 第 4 回(6. 6. 2)
  - ・ 大学説明会の打合せ
- 第 5 回(6. 6. 6)
  - ・ 案内パンフレットの検討
- 第 6 回(6. 6.13)
  - ・ 案内パンフレットの検討
- 第 7 回(6. 6.23)
  - ・ 募集要項の検討
- 第 8 回(6. 7.15)
  - ・ 大学説明会
- 第 9 回(6. 7.22)
  - ・ 7 年度入学者選抜方法の決定
- 第10回(6.10.19)
  - ・ 平成 9 年度入試科目の検討
- 第11回(6.10.26)
  - ・ 推薦入試実施要領の検討
- 第12回(6.11. 7)
  - ・ 平成 9 年度入試科目の決定
- 第13回(6.11.16)
  - ・ 推薦入試実施要領（案）
- 第14回(6.12. 6)
  - ・ 推薦入試実施要領（案）
- 第15回(6.12.11)
  - ・ 推薦入試日
- 第16回(6.12.14)
  - ・ 推薦入学者合否判定会議
- 第17回(6.12.15)
  - ・ 推薦入学合格者発表
- 第18回(6.12.21)
  - ・ 一般入試実施要領（案）
- 第19回(7. 1. 9)
  - ・ 一般入試実施要領
- 第20回(7. 1.11)
  - ・ 一般入試実施要領
- 第21回(7. 1.13)
  - ・ 一般入試実施要領
- 第22回(7. 1.27)
  - ・ 一般入試実施要領決定
- 第23回(7. 2.19)
  - ・ 一般入学試験日
- 第24回(7. 2.27)
  - ・ 一般入試合否判定会議
- 第25回(7. 2.28)
  - ・ 一般入試合合格者発表

### ⑤ 図書委員会

- 第 1 回(6. 4. 5)
  - ・ 委員長、副委員長を選出
  - ・ 「図書館利用規程（案）」について審議
- 第 2 回(6. 4.19)
  - ・ 図書館の休館日及び開館時間について検討

- 図書館予算について
- 定期刊行物の購入について
- 第3回(6. 5.30)
  - 図書購入予算の方針案を決定
  - 購入図書の管理について検討
  - 学外関係者の貸出及び閲覧の取扱について検討
- 第4回(6. 7. 4)
  - 購入図書希望アンケートについて
- 第5回(6. 9.12)
  - 平成7年度図書館予算要求の基本案について
  - 研究費による購入図書の管理について検討
- 第6回(6.10.13)
  - 購入図書希望アンケートの結果について検討
- 第7回(6.12. 1)
  - 図書館予算の執行状況報告と今後の方針を検討
  - 返却延滞者の取扱について審議
- 第8回(6.12.15)
  - 平成6年度図書館予算の執行残について検討
  - 雑誌の整備状況（交換図書）の報告
  - 平成7年度図書館予算の図書と雑誌の予算配分を検討
- 第9回(7. 2. 3)
  - 平成6年度図書館予算の執行結果について報告
  - 平成7年度図書館予算の基本事項について検討

⑥ 紀要委員会

- 第1回(6. 6. 6)
  - 紀要の発刊について検討
- 第2回(6. 6.13)
  - 紀要投稿規程（案）の検討
- 第3回(6.10.17)
  - 紀要投稿規程（案）の検討
- 第4回(6.11.21)
  - 紀要投稿規程（案）の検討
- 第5回(6.12.22)
  - 紀要投稿規程（案）の検討

(4) 主要行事日誌

4月1日（金）	開学 辞令交付…斎藤学長から新任（転任）教職員に交付。初めて全員が顔を合わせ、簡単な昼食会を実施。
13日（水）	入学式（別記）
14日（木）	ガイダンス
18日（月）	前期授業開始
5月8日（日）	開学記念日…開学記念式典、祝賀会を行う。（別記）
20日（金）	ふれあいグリーンキャンペーン…主催者から苗木（サルスベリ、キョウチクトウ）の寄贈。
25日（水）～26日（木）	全国公立短期大学協会通常総会…岡山県倉敷市で開催。 斎藤学長、一ノ関事務局長出席。
30日（月）	学生自治会設立総会、8サークル設立。
31日（火）. 6月1日（水）	学生健康診断
6月20日（月）	開学記念植樹…教職員全員の寄付金により「なつつばき」を購入し、キャンパスストリート前に植樹。

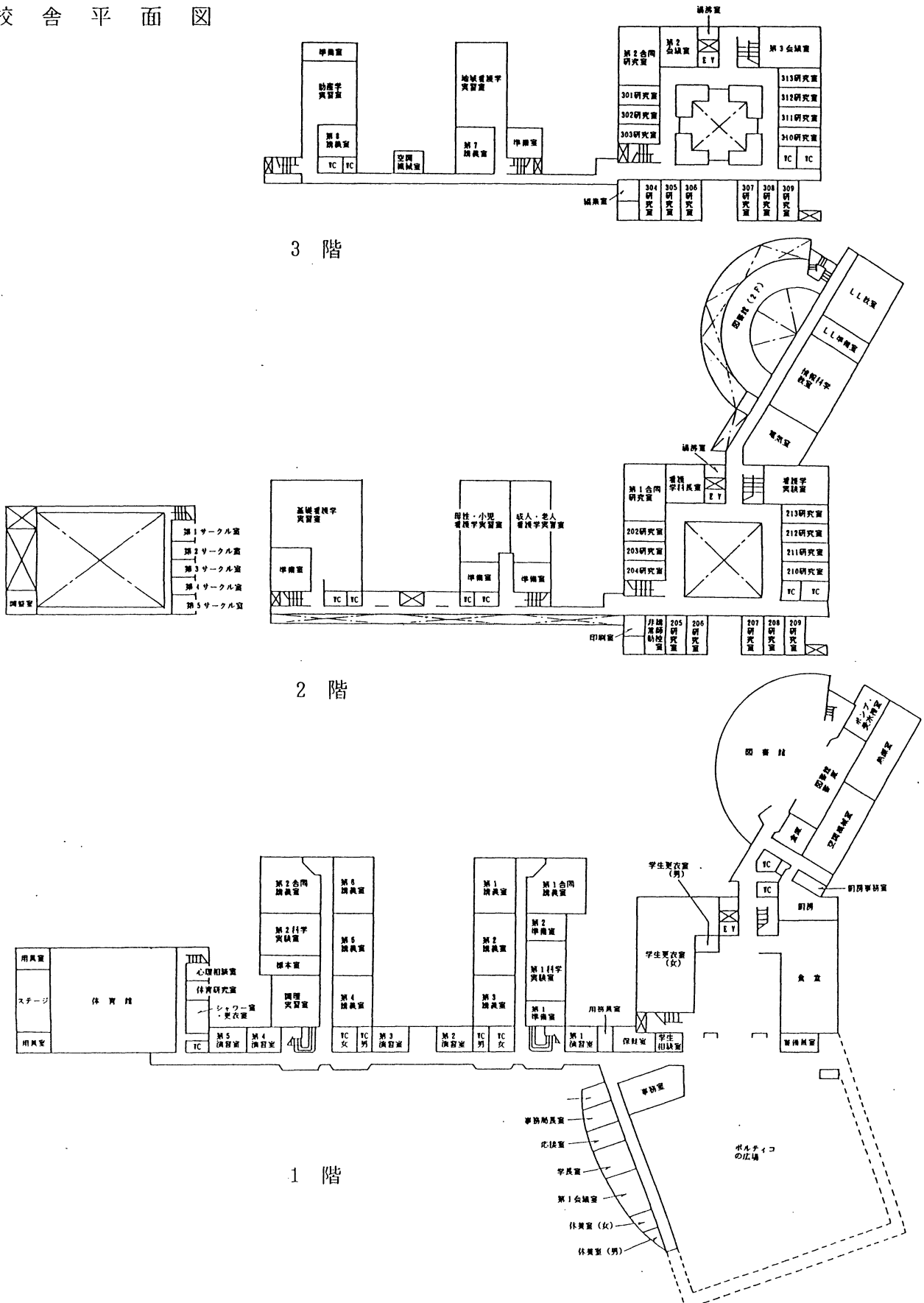
7月5日(火)・6日(水)	食事介助実習
11日(月)～8月31日(水)	夏季休業
13日(水)～14日(木)	全国公立短期大学協会医療看護系協議会…静岡県浜松市 で開催。斎藤学長、桑野学科長、小野澤教授出席。
15日(金)	大学説明会…県内高等学校進学担当教諭51人が参加し、 本学L.L教室で実施。
16日(土)	環境保健部ソフトボール大会上越地区予選…柏崎、上越、 糸魚川の各保健所と本学の4チームで糸魚川市美山 球場で開催。本学は糸魚川と対戦し3：5で惜敗。
8月24日(水)～26日(金)	専門公開講座(別記)
9月26日(月)～30日(金)	前期試験
10月3日(月)	後期授業開始
13日(木)～14日(金)	全国公立短期大学協会学長会…島根県浜田市で開催。 斎藤学長出席。
11月14日(月)～18日(金)	推薦入試願書受付け…応募者 115人
19日(土)	大学祭、一般公開講座(別記)
12月11日(日)	推薦入試…受験者 114人
15日(木)	推薦入試合格者発表…合格者30人
25日(日)～1月7日(土)	冬季休業
1月7日(火)～23日(月)	一般入試願書受付け…応募者474人
2月13日(月)～17日(金)	後期試験
19日(日)	一般入試…受験者402人
28日(火)	一般入試合格者発表…合格者103人
3月9日(木)・10日(金)	入学手続き受付け…推薦、一般合格者及び補欠者のうち 109人が手続きを行う。
〃 〃	解剖見学…解剖生理学で人体解剖の見学に新潟大学医学 部へ。
15日(金)	大学運営懇談会(別記)
21日(火)～4月7日(金)	春季休業
22日(水)	研究生の選考
23日(木)	進級判定会議





16 校舎配置図 (平面図)

校舎平面図



《参 考》

◎ 県立看護系短期大学設立検討委員会委員名簿

(平成3年3月現在)

氏 名	所 属	職
武 藤 輝 一	新潟大学医学部長	(委員長)
曾 我 淳	新潟大学医療技術短期大学部長	
原 萃 子	新潟大学医療技術短期大学部教授	
山 田 一 介	新潟日報社論説副委員長	
宮 川 糧 平	新潟県医師会理事	
笹 川 力	新潟県病院協会副会長	
林 茂 信	国立療養所犀潟病院リハビリテーション学院長	
深 澤 つ や	日本看護協会新潟県支部長	
石 田 幸 平	新潟大学教養部教授	
塚 原 叡	県立新潟女子短期大学長	

◎ 県立看護短期大学設立準備委員会委員名簿

(平成3年7月現在)

氏 名	所 属	職
斎 藤 秀 晁	新潟県立中央病院長	
原 萃 子	新潟大学医療技術短期大学部教授	
桑 野 タイ子	埼玉県立衛生短期大学教授	
佐々木 美佐子	新潟県公衆衛生看護学校教頭	
山 崎 市 郎	新潟県病院局長	
上 村 桂	新潟県環境保健部長	

◎ 県立看護短期大学設立準備室職員名簿

(平成6年3月現在)

氏 名	職 名	氏 名	職 名
斎 藤 秀 晁	環境保健部参与	寺 崎 茂	主 査
桑 野 タイ子	県立新潟女子短期大学教授	中 村 稚 枝 子	〃
赤 川 義 明	室 長	富 田 雅 樹	〃
加 藤 光 寶	参 事	水 口 陽 子	〃
青 木 裕 一	副参事	上 石 健 治	主 事
古 川 博 幸	〃	市 川 彰	〃
小 林 ミチ子	主 査		

新潟県立看護短期大学の校章（平成7年3月6日教授会で制定）



円は上越の豊かな自然を表わしており、また協調、安定、円満といった意味も込められています。円の中のマークは、さくらの花びらを表わすとともに天使の羽をも表わし、やさしく命を包み込むあたたかな思いやりの心と、未来に向かって伸びゆく賢く強い看護精神を象徴しています。イメージカラーとしては、スカイブルー（澄んだ空気、青い海や川）とピンク（さくら、ハート）を使用し、全体的にやさしくさわやかで、いきいきとした明るいイメージを表現しています。